

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (¹15レストルームドレッサー専用RH(TCF9867Z)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2	正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2
(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5	(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順1

本体操作部の **運転** 入/切 を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間点灯**します。

本体表示部

● 運転 きれい
● 便座
● 節電

→

● 運転 きれい
● 便座
● 節電

→

● 運転 きれい
● 便座
○ 節電

この間**5秒**

ランプが全点灯から一部点灯または点滅したら最初からやり直してください。

※下図は例です

手順2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、
 すぐに **ビデ** 入/切 を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

手順3

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 入/切 を押したまま、**おしり** 入/切 を押す。

おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

手順4

◆手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになる。

手順5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

コードラベル

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

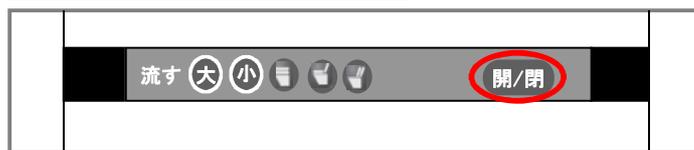
<<リモコン側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

1. **開/閉** を押してリモコン操作面を開く。

⇒操作面1面目が開きます。

リモコン操作面が閉まっている状態



2. **設定**
操作面1面目の **設定** を押す。

⇒操作面2面目に切り替わります。

操作面1面目



3. **各種設定**
操作面2面目の **各種設定** を押す。

⇒操作面3面目へ切り替わります。

操作面2面目



4. **止**
止 を10秒以上押す。

⇒操作部(液晶)の止「■」マークと右上の
「特殊設定モード」の文字が点滅します。

< **部** >

点滅後は **止** から指を離す。

操作面3面目



5. 「■」マークと「特殊設定モード」文字が点滅中に
セット を5秒押す。

⇒5秒後「設定C00」が表示された画面に
切り替わります。

画面切り替わり後 **セット** から指を離す。



リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

6. 「■」マークと「特殊設定モード」の文字が点滅中に

— +
○ ○にて特殊コード(標準C00)、特1
(C01)～特9(C09)を設定する。

⇒ — または + を押すと「確定5秒押し」の

文字が表示され、「確定5秒押し」

「設定C00」の文字が点滅します。

※リモコン側はC00(標準)～C14(特14)まで設定可能ですが本体はC00(標準)～C09(特9)までしか設定できません。



7.

確定5秒押し

○ を5秒間押す。

⇒「確定5秒押し」の文字が消え、

「設定C00」の点滅は点灯へ変わります。



8.

止 を押して設定完了です。

⇒「■」が点灯し「特殊設定モード」の文字が消えて3面目の画面へ戻ります。

戻る 終了

◆右下の ○ や ○ を押しても、特殊設定モードは

終了しませんので、押さないでください。



※ ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。